



平成 24 年 1 月 20 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社  
代表者名 取締役社長 英 裕治  
(コード番号 6803 東証第 1 部)  
問合せ先 取締役コーポレート本部長  
野村 佳秀  
(TEL 042-356-9116)

## オンキヨー株式会社との資本・業務提携に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 1 月 20 日の取締役会において、オンキヨー株式会社（以下、「オンキヨー」といいます。）と資本・業務提携（以下、「本提携」といいます。）を行うこと、及び、同社による第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を一定の条件の元に引き受けることを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 資本・業務提携の理由

当社は、創業以来、「記録・再生技術」を強みとして、一般AV機器の「TEAC（ティアック）」ブランド製品や高級AV機器の「ESOTERIC（エソテリック）」ブランド製品、音楽制作オーディオ機器「TASCAM（タスカム）」ブランド製品の音響機器事業、航空機搭載用記録再生機器、計測機器、医用画像記録機器、光ディスクドライブ等からなる情報機器事業を展開しており、近年は主力事業である音楽制作オーディオ機器「TASCAM（タスカム）」ブランドの更なる成長加速を図っております。

一方オンキヨーは、「アンプ、スピーカー」等のアナログ技術に加え、高品質音楽コンテンツの配信やAVアンプのネットワーク対応などをいち早く展開するなど、「デジタル技術」にも積極的に取り組んでおります。また、車載用、TV・PC用などのスピーカーユニットを供給するOEM事業やPC事業も展開しており、近年は、他社AV製品のOEM供給や法人向けPC製品の販売などにも注力して、事業拡大を図っております。

今後両社は、それぞれのブランド力、販売力、技術力、生産力を持ち寄り、相互に補完を行うことで、両社の販売拡大、製品付加価値の向上、製品競争力の強化や新市場の開拓などの実現を目指します。

また、本提携にあたっては、業務提携に加えて、相互に相手方の株式を新たに取得することにより、両社の協力関係を一層緊密にし、事業シナジーを発揮することで、双方の企業価値向上がより期待できるものと考えております。

#### 2. 資本・業務提携の内容等

##### (1) 資本・業務提携の内容

本提携の内容は以下のとおりです。

- ① 新規カテゴリ製品・サービスの共同開発
- ② 両社製品の相互供給、販売チャンネルの相互利用を含めた、製造、販売における連携
- ③ 物流における連携と協力
- ④ 上記①から③に関する更なる連携
- ⑤ 株式の相互保有

(2) 当社が新たに取得するオンキヨーの株式の数、本第三者割当増資後及び本第三者割当増資前の発行済株式総数に対する割合

本提携により、当社は、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件として、オンキヨーが当社を割当先とする本第三者割当増資により、当該株式を取得する予定です。当社が新たに取得するオンキヨーの株式の数、本第三者割当増資後及び本第三者割当増資前の発行済株式総数に対する割合ならびに取得価額は以下のとおりとなる予定です。本第三者割当増資の詳細につきましては、オンキヨーによる本日付発表の「ティアック株式会社との資本・業務提携および第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

① 取得する株式の数	5,833,300 株
② 本第三者割当増資後の発行済株式総数に対する割合	9.42%
③ 本第三者割当増資前の発行済株式総数に対する割合	10.40%
④ 取得価額	699,996,000 円 (1株につき120円)

(3) オンキヨーが新たに取得する当社の株式の数、発行済株式総数に対する割合

本提携により、オンキヨーは、フェニックス・キャピタル・パートナーズ・ワン投資事業組合（業務執行組合員 フェニックス・キャピタル株式会社）及びジャパン・リカバリー・ファンド・スリー（業務執行組合員 フェニックス・キャピタル株式会社）より相対取引にて、新たに当社の株式を取得する予定です。株式の数及び発行済株式総数に対する割合については、オンキヨーによる本日付発表の「ティアック株式会社との資本・業務提携および第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

(4) 取締役の派遣

オンキヨーから当社へ取締役1名を受け入れます。なお、取締役への選任は平成24年6月に開催予定の定時株主総会での選任議案が承認されることが前提となります。

3. 資本・業務提携の相手先の概要

① 名 称	オンキヨー株式会社	
② 所 在 地	大阪府寝屋川市日新町2番1号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 大拙宗徳	
④ 事 業 内 容	オーディオ・ビジュアル関連製品、PC及びその他IT関連製品ならびに車載用・家電用スピーカー等の製造・販売	
⑤ 資 本 金 (注1)	2,278,541,000 円	
⑥ 設 立 年 月 日	2010年10月1日	
⑦ 大株主及び持株比率 (注2)	オーエス・ホールディング(株)	30.78%
	Gibson Guitar Corp.	14.70%
	大拙直人	7.13%
	シークス(株)	3.57%
	(株)三井住友銀行	1.91%
	オンキヨー従業員持株会	1.21%
	オンキヨー取引先持株会	1.05%
	谷本忠史	0.94%
	大辺創一	0.82%
	塩崎甚作	0.71%

⑧ 当社との関係等	資本関係	該当事項なし。		
	人的関係	該当事項なし。		
	取引関係	該当事項なし。		
	関連当事者への該当状況	該当事項なし。		
⑨ 最近3年間の経営成績及び財政状態（注3）				
	決算期	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
	連結純資産	5,759百万円	7,007百万円	6,202百万円
	連結総資産	55,148百万円	42,362百万円	33,300百万円
	1株当たり連結純資産	121.22円	141.10円	129.61円
	連結売上高	85,023百万円	50,962百万円	52,613百万円
	連結営業利益	△1,939百万円	558百万円	433百万円
	連結経常利益	△3,825百万円	815百万円	277百万円
	連結当期純利益	△6,320百万円	303百万円	58百万円
	1株当たり連結当期純利益	△146.05円	6.44円	1.23円
	1株当たり配当金	—	1.00円	—

（注1）平成24年1月20日現在のGibson Guitar Corp.を割当先とした第三者割当増資実施後の金額です。

（注2）オンキヨーによる本日付発表の「ティアック株式会社との資本・業務提携および第三者割当による新株式の発行に関するお知らせ」に基づく平成24年1月20日現在の大株主及び持株比率を記載しています。

（注3）オンキヨーは、平成22年10月1日に株式移転により持株会社として設立されたため、平成23年3月期が第1期となりますが、参考として、平成21年3月期及び平成22年3月期の業績は、株式移転前のオンキヨー株式会社（現：オンキヨーサウンド&ビジョン株式会社）の業績を記載しています。

#### 4. 日程

平成24年1月20日	取締役会決議
平成24年1月20日	資本・業務提携契約の締結
平成24年2月6日	本第三者割当増資の払込期日

#### 5. 今後の見通し

本提携による平成24年3月期連結業績への影響は軽微です。

当社は、オンキヨーとの本提携に基づき、今後、新規カテゴリ製品・サービスの研究開発及び当該製品・サービスについてのマーケティング、マーケティング体制の強化とともに、オンキヨーとの製造、販売、物流の連携等に努めることで、販売拡大、製品付加価値の向上、製品競争力の強化や新市場の開拓などの実現を目指します。そのため、本提携が業績に与える影響として、平成25年3月期より寄与し始め、平成26年3月期より年間3億円程度の営業利益改善効果を見込んでおります。

以上